

す な お

令和4年10月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2022.10.16 通巻 No.747

会 長

『奇跡と思える奇跡』～前略～振り返って、私たちにとっての奇跡、ご守護とは何でしょうか？それは何かの結果、もたらされるものでしょうか？—そうではないはずです。この世界に、そして体に、十全の守護は、すでに与えられています。

こうは言えないでしょうか。お道の信仰は、その先の奇跡に見るのではなく、日常が奇跡だと気づくようになる歩みである、と。そのことを知性によってではなく、心の眼で感じ取っていく道。ご守護や奇跡は始めから与えられているのです。～後略～（可児義孝著 天理時報令和4年10月5日号より）

上記の信仰エッセーは今現在の私の心境そのものだと感じながら、読ませていただきました。私はケガの後、日々のリハビリが始まり「今日は3メートル歩けた」「6メートル歩けた」と自らも喜び、その報告を皆さんにしていました。その状況は退院をしてもう3ヶ月が経とうとしている今も日々続いていますから、日々ありがたい！の連続です。

しかし、このあといつか以前のようにどんな事も出来るようになった時、その状況に慣れて喜びの積み重ねが止まってしまったらどうでしょう。出来ない事が出来るようになったから喜ぶではなく、今出来ることが本当は奇跡の連続の上に成り立っていることを、心に感じ声に出して人様に伝えていく。これが信仰者の姿でしょう。

また、これなら特殊な技能や知識が無くても誰でも出来ることです。これが【かしの・かりものの理】の教えの第一歩です。そして、その感謝の思いを姿に表すのがひのきしんであったり、御供ということになっていきます。どうか、深い感謝の思いを持てるお互いに成人させていただきたいものです。



親里ぢばへ

田中 道則

9月17日に、華世と陽都と3人でおぢばがえりをさせてもらいました。しまなみ海道を通って昼過ぎにおぢばへ到着、神殿でおつとめをして教祖殿、祖霊殿をゆっくり廻らせてもらいました。陽都は初めてのおぢばで、本人はまだ分かりませんが父親の自分が感激でした。親里ぢばへ家族と一緒に帰らせて頂ける喜びで胸が一杯でした。

18日はせっかく奈良に来たので観光しようと思っていたら大型台風接近で、橋が通行止めになる前に大急ぎで今治に帰りました。来年も元気で帰らせてもらえるよう日々つとめたいです。



子育てへ向けて

椿 信代

先日妹が3人目を出産しました。丸々とした、とても可愛い女の子です。母子ともに命懸けのお産ですから、今回も無事に産まれてきてくれて本当に良かったと心から安心しました。

私たち夫婦も30歳を目前にしていよいよ子供のことを考え始めました。なんだかんだ今までは仕事や周りの環境もあって子供が欲しいとは思えずにいたのですが、そんな時先月の職場での出来事（※9月のすなお参照）があり、もし今後急に夫が亡くなったりして独りになったら…と思うと苦しく、私にとってはそれが一番背中を押す理由になりました。

心が定まってからは出産に対する恐怖や迷いがなくなりました。先月のことが神様からのメッセージだったのかもしれないとも感じました。

まだ何もかもこれからなので授かれるかどうか分かりません。ですが、こうして健康な身体で子育てという人生においての大きなミッションにチャレンジできることを喜んで、夫婦揃って前向きに進んでいこうと思います。

教会ニュース

親会長様5年祭

来年、2月5日に親会長さんの5年祭をつとめさせていただきます。開始時間等の詳細は決まり次第連絡させていただきますので、参拝の出欠も順次確認をさせていただきます。よろしくお願いします。

修養課入学

今月1日より親奥様が本部修養科に60数年ぶりに入学され、勇んで楽しんでつとめて下さっています。修養科は何度でも行かせてもらえます。もちろん初めての方はなおのことです。



編集後記

今月からすなおの用紙の大きさが変わりました。前のすなおの用紙に比べると大きく感じます。全体のイメージも少し変えてみました。最初は違和感があるかもしれませんが。

最近では色々な書類の書式がA4サイズに統一されてきていることもあって、今月からすなおの用紙を変更することになりました。

最近の出来事ですが、先月号で書きました受験した資格試験ですが、残念ながら不合格でした。来年チャレンジして合格したいと思います。

（編集者K）